

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(2/7)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
グリーンアジア国際戦略総合特区(福岡県等)	正	4.2	4.5 進捗度 ・当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高100%	4.0 規制の特例等 ・70MPa水素スタンドに対応した技術上の基準や例示基準の整備等 財政支援等 ・社会資本整備総合交付金等 地域独自の取組 ・不動産取得税の課税免除等	4.0	<p>・水素エネルギーとスマートコミュニティ、アジアへのシステム展開などこの特区ならではの重要なイノベーションが検討されているが、「当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高」だけでは十分に進捗が評価できないと思われる。</p> <p>・国との協議で水素ステーションが福岡県内に10か所以上整備されることになったことは大きな成果であるが、財政・税制・金融の支援が環境を軸とした産業の年間売上高に直接寄与することが分かるような説明が期待される。</p> <p>・種々の活動は活発に行われていて、成果も上がっていると思われるが、数値目標については、どの統計数値、どの範囲で系統的に収集して分析しているのかが示されておらず、極めて曖昧なままになっている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。